

## 平成31年度 腰痛予防指導者育成研修日程表（基礎研修）

## 開催日時

	Aコース		Bコース		開催時間
	富山地区	新川地区	高岡地区	砺波地区	
1	6月24日(月)		6月24日(月)		9:00~17:00
2	7月11日(木)		7月8日(月)		9:00~17:00
3	7月25日(木)		7月22日(月)		9:00~17:00

## 内 容

	時間	内 容	講 師
1 回 目	9:00 ～	オリエンテーション 研修の進め方・日程表・シラバス・サブノートの活用 レポートの提出・目標設定等について	富山県介護実習・普及センター 所長 佐藤 裕美子
	10:00 ～ 12:00	(講義・演習) コーチングスキルを用いたスタッフへの 指導技法について」 休憩	ワイス アヴァンテ代表 銀座コーチングスクール 認定講師 土屋 佳瑞 氏
	13:00 ～	(講義) 腰痛予防のための基礎知識 体のつくりとその働き/ 自然な身体の動き方 障がいの種類と特徴/腰痛をおこさないためには	金城大学医療健康学部 教授 木林 勉 氏
	16:00 ～16:45 ～17:00	サブノートについて 活用方法など 研修会今後の進め方について 施設での自己学習・ フォローアップ研修	佐藤
2 回 目	9:00 ～	(講義・演習) 「ベッド上の移動、起き上がり、立ち上がり」※1 の介助方法 ・自然な身体の動きを体験(実技) ・障害のある利用者の介助方法(実技) ※1の事例に基づき、シミュレーションを通し介助方 法の教え方を学ぶ(介助の目的・使用する福祉用具 の有用性・利用者のアセスメントを通し注意点な ど)練習、発表	講義・演習 地域リハビリ支援室タムラ 代表 田村 茂 氏 (Aコース) 金城大学医療健康学部 教授 木林 勉 氏 (Bコース)
	12:00 ～ 13:00	休憩 (演習・講義) 「座位移乗」の介助方法 ベッド⇔車いす移乗 ※2 ベッド⇔ストレッチャーへの移動(紹介)	指導アシスタント 富山城南温泉病院 作業療法士 塚田 大紀 氏 (Aコース)
	15:30 ～	※2の事例に基づき、シミュレーションを通し介助 方法の教え方を学ぶ(介助の目的・使用する福祉用具 の有用性・利用者のアセスメントを通し注意点 など)練習、発表	特別養護老人ホーム ほのぼの 介護職員 堂尻 貴裕 氏 (Bコース)
	17:00	目標：正しい用語・行動の根拠を含め説明する	

3 回 目	9:00 ～	(講義) ・リフトについて リフトの種類・吊り具の違い・リフトの適応・吊り具の適応等	講義・演習 地域リハビリ支援室タムラ 代表 田村 茂 氏 (Aコース)
	9:30 ～	「臥位、座位が不安定な対象者の介助方法、リフトを使用して」※3の介助方法	金城大学医療健康学部 教授 木林 勉 氏 (Bコース)
	11:30	※3のシミュレーションを通し介助方法の教え方を学ぶ(介助の目的・使用する福祉用具の有用性・利用者のアセスメントを通し注意点など) <b>リフトの適応・吊り具の適応を盛り込み説明</b>	<u>指導アシスタント</u> 富山城南温泉病院 作業療法士 塚田 大紀 氏 (Aコース)
	12:00	休憩	
	13:00 ～	(演習・講義) リフトの続き	特別養護老人ホーム ほのぼの 介護職員 堂尻 貴裕 氏 (Bコース)
	13:30	(演習・講義) ・「指導者として教えることができる」 (基本動作の指導:ベッドの上方への移動・起き上がり・立ち上がり・座位移乗の介助方法)  ・リスクを踏まえ、アセスメント 事例についてアセスメント (2事例/4事例中) 事例を基にアセスメントし、介助方法を発表する	<u>グループワーク</u> <u>事例を通じ利用者のアセスメントを考える。</u> 4事例 ・上方移動 ・起き上がり ・シート ・ボード ・リフト(センター所有の)
	16:30	フォローアップ研修について	佐藤
	17:00	アンケート退出	

## 注意事項

- ・グループ発表時間を15分/1回とする
- ・シミュレーションの事例はセンター側で提示する

## 平成31年度 腰痛予防指導者育成研修日程表（フォローアップ研修）

## 開催日時

	富山地区会場	新川地区会場	高岡地区会場	砺波地区会場	開催時間は準備を含め2時間
1	8/22（木）	8/29（木）	8/26（月）	9/2（月）	14：00～19：30
2	9/19（木）	10/10（木）	9/30（月）	10/21（月）	14：00～19：30

## 開催場所

	富山地区会場	新川地区会場	高岡地区会場	砺波地区会場	開催時間は準備を含め2時間
1	地域別に研修会場を調整し、後日、通知する。				
2					

内容:事例に基づき、対応方法を検討し、指導内容を考案し、シミュレーションする。  
その方法を、研修参加者に指導する。

1回目	<p><b>研修生が基礎研修での学びを活用して、フォローアップ研修参加者（引率した職員）に説明・シミュレーションを行い指導する。</b></p> <p>1) 腰痛を起こさないために、従来の持ち上げによる介助方法から新たな移動・移乗方法に変更することの意義・必要性について</p> <p>2) 福祉用具（スライディングシート・スライディングボード）の有用性について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ベッドからの立ち上がりの場合</li> <li>○上方へ移動する場合</li> <li>○起き上がりの場合</li> <li>○移乗（ベッド～車いす）の場合</li> </ul> <p>3) 事例に基づき利用者の状況・環境を踏まえアセスメントし、1) 2) の内容をシミュレーションする。</p>
2回目	<p><b>福祉用具、リフト・吊り具の種類と使用方法等についてフォローアップ研修参加者に指導する。</b></p> <p>1) リフトの適応等について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○床走行式リフト、門型リフト、スタンディングリフト等の特徴を説明</li> <li>○吊り具の種類と選択について説明</li> </ul> <p>2) 安全なリフト操作時のポイントについて説明およびシミュレーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○臥位、座位が不安定な対象者の場合</li> </ul> <p>3) 事例を基に利用者をアセスメントし移乗について検討する。吊り具ローバック型脚分離を使用した場合、ハイバック型脚分離又はシートタイプを使用した場合について、考え・介助方法を説明し、シミュレーションする。</p>